

令和3年5月31日

# 令和2年度学校法人浪速学院

## 浪速高等学校・浪速中学校事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### I. 法人の概要

#### ①教育方針・校訓・教育目標

##### ○ 教育方針

本校の教育方針は、教育基本法に拠り、新教育の理念に則り、民主的、社会的、平和的、自主的、創造的な人格の確立を目標にし、我が国の精神と伝統の文化を重んじ、祖先の精神を受け継ぐ心を育むことに努める。

即ち、神社神道の精神によって、敬神崇祖の精神を養うと共に道徳心を以て社会の秩序を守ることを基本とし、未来に羽ばたく若者を育てることが本校教育の基調である。

##### ○ 校訓

神社神道の理念である「浄・明・正・直」を校訓とし、生徒指導の基本とする。

##### ○ 教育目標

校訓に基づく全人教育は教育の基本である。同時に生徒の才能と適正を開発し、学力体力の増進を図り、個性豊かで心身ともに健全な次代の日本を担う人間を育成する。

##### 1) すべての生徒に人間性豊かな心を！

校訓のもとに徳性を涵養し、礼儀を重んじ、感謝の心をもつ生徒の育成に努める。

##### 2) すべての生徒に学習の喜びを！

生徒の無限の可能性をひき出すために、基礎学力の充実を図り、主体的に学習させることにより、学習する喜びをもたせるよう努める。

##### 3) すべての生徒に体力と気力を！

健康に留意し、「健康の自主管理」をモットーに体力の向上を図り、頑張りのきく体力、気力をもつ積極性のある生徒の育成に努める。

## ②沿革

1923年（大正12年）	財団法人大阪国学院により「浪速中学校」設立
1948年（昭和23年）	学制改革により「浪速高等学校」と改称
同年	浪速中学校併設
1958年（昭和33年）	「中学校」募集停止
1983年（昭和58年）	「理数科」設置
1985年（昭和60年）	「新総合体育館」竣工
同年	「中学校」募集再開
1989年（平成元年）	全教室「冷暖房」完備
1997年（平成9年）	普通科に「英数コース」、「総合コース」設置
2005年（平成17年）	高校男女共学・コース再編
同年	特進文科コース、英語集約コース設置
2007年（平成19年）	中学校男女共学スタート
2009年（平成21年）	校外宿泊学習施設「多聞尚学館」開館
同年	関西大学パイロット推薦制度指定校
2010年（平成22年）	校外総合運動場「浪速ふくろうスタジアム」竣工
2011年（平成23年）	法人名を「浪速学院」に改称
同年	「浪速武道館」竣工
同年	「新クラブハウス」「新カフェテリア」竣工
2012年（平成24年）	「千早清明寮」竣工
2013年（平成25年8月）	校内人工芝グラウンド 竣工
2014年（平成26年3月）	新校舎「東館」、新東門「天岩屋戸門」竣工
2015年（平成27年8月）	新校舎「中央館」竣工
2016年（平成28年3月）	新学院神社 竣功
同年	普通科「文理S1コース」設置
2017年（平成29年）	「至誠寮」竣工
同年	校外多目的総合運動場「美原スポーツキャンパス」取得
同年	「多聞尚学館」改修：「多聞ラウンジ」新設
2018年（平成30年3月）	「浪速ふくろうベースボールスタジアム」竣工 (「浪速ふくろうスタジアム」を野球専用球場に改修)
同年（平成30年3月）	「クラブハウス棟」増築
同年（平成30年3月）	「English Communication Labo」(ECL教室)新設
2019年（平成31年3月）	「浪速八咫烏庭球倶楽部」竣工 (テニスコート5面・クラブハウス)

- 同年（平成 31 年 3 月） 「浪速武道館」増築（空手道場「錬武館」拡張）
- 同年（令和元年 8 月） 「美原スポーツキャンパス」を「高天原スポーツキャンパス」に改称
- 同年（令和 2 年 4 月） 多聞果樹園・多聞楽舎完成
- 同年（令和 2 年 9 月） 校内全ての教室に Wi-Fi 環境整備完了
- 2021 年（令和 3 年 1 月） 高天原スポーツキャンパス「浪速乾坤一擲ドリームフィールド（「Kフィールド」サッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場）」竣工

### ③設置する学校

- ・ 浪速高等学校 全日制課程 生徒定員 2400名  
（普通科 2400名）
- ・ 浪速中学校 生徒定員 360名

## II. 法人会議

### (1) 理事会

#### ①令和 2 年度第 1 回理事会

開催日時 令和 2 年 5 月 27 日（木）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

開催場所 学校法人浪速学院 理事長室（東館 1F）

出席者 理事 7 名 監事 2 名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」  
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和元年度決算（案）並びに令和元年度事業報告（案）
- ② 令和元年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 本校における新型コロナウイルス感染症対策の経緯
- ④ 本校のオンライン教育
- ⑤ 学校自己評価について 他

②令和2年度第2回理事会（臨時）

開催日時 令和2年7月21日（火）午後3時40分～午後4時00分

開催場所 学校法人浪速学院 理事長室（東館1F）

出席者 理事6名 監事2名

審議事項 ・学生寮施設設置のための近隣不動産取得検討について 他

③令和2年度第3回理事会

開催日時 令和2年12月22日（火）午後3時00分～午後4時50分

開催場所 学校法人浪速学院 理事長室（東館1F）

出席者 理事7名 監事2名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」  
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和2年度中間決算（案）
- ② 令和2年度中間決算に係る監査報告
- ③ 教育環境の整備充実事業について（高天原スポーツキャンパス）
- ④ 理事会・評議員会 リモート・オンライン化に関する件
- ⑤ 令和3年度入試広報活動に関する件
- ⑥ 学則（高校）教育課程の変更について
- ⑦ 本校における新型コロナウイルス感染に関する事項

・人事に関する事項

- ① 役員人事及び寄附行為の変更
- ② 教頭補佐、指導教諭発令に関する件
- ③ 専任教諭採用に関する件 他

④令和2年度第4回理事会

開催日時 令和3年3月26日（金）午後3時00分～午後4時20分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館1F）

出席者 理事8名 監事2名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議  
案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和2年度一次補正予算（案）並びに令和3年度当初予算（案）及

び令和3年度事業計画（案）

② 令和3年度入試総括

③ 令和2年度大学進学実績（令和3年度大学入試）

・ 人事に関する事項

① 役員、評議員の予選（新役員の選任、及び評議員の選任）

② 専任教員の採用について

③ 令和3年度 管理職及び校務運営体制 他

## （２） 評議員会

### ①令和2年度第1回評議員会

開催日時 令和元年5月27日（木）午後3時30分～午後4時20分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員24名 監事2名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」  
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

① 令和元年度決算（案）並びに令和元年度事業報告（案）

② 令和元年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括

③ 本校における新型コロナウイルス感染症対策の経緯

④ 本校のオンライン教育

⑤ 学校自己評価について 他

### ②令和2年度第2回評議員会（臨時）

開催日時 令和2年7月21日（火）午後3時00分～午後3時30分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員20名 監事2名

諮問事項 ・学生寮施設設置のための近隣不動産取得検討について 他

### ③令和元年度第3回評議員会

開催日時 令和2年12月22日（火）午後3時30分～午後4時20分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員23名 監事2名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」  
について

- ・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について
  - ① 令和2年度中間決算（案）
  - ② 令和2年度中間決算に係る監査報告
  - ③ 教育環境の整備充実事業について（高天原スポーツキャンパス）
  - ④ 理事会・評議員会 リモート・オンライン化に関する件
  - ⑤ 令和3年度入試広報活動に関する件
  - ⑥ 学則（高校）教育課程の変更について
  - ⑦ 本校における新型コロナウイルス感染に関する事項
- ・人事に関する事項
  - ① 役員人事及び寄附行為の変更
  - ② 教頭補佐、指導教諭発令に関する件
  - ③ 専任教諭採用に関する件 他

#### ④令和2年度第4回評議員会

開催日時 令和3年3月26日（金）午後3時25分～午後4時00分

途中理事会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員25名 監事2名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議  
案件」について

- ・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について
  - ① 令和2年度一次補正予算（案）並びに令和3年度当初予算（案）及び  
令和3年度事業計画（案）
  - ② 令和3年度入試総括
  - ③ 令和2年度大学進学実績（令和3年度大学入試）
- ・人事に関する事項
  - ① 役員、評議員の予選（新役員の選任、及び評議員の選任）
  - ② 専任教員の採用について
  - ③ 令和3年度 管理職及び校務運営体制 他

### Ⅲ. 事業の概要

#### 1. 学校改革第二ステージ「浪速新時代の幕開け」

本法人は、木村理事長を招聘し、平成18年12月の着任以来、「浪速改革」を断行してきた。就業規則の改定・新人事制度並びに新給与体系への移行、人材育成・評価システムの導入等も含めて教職員の人件費抑制施策に踏み切る一方で、入試広報室へ経営資源を投入したきめ細かい生徒増加施策の展開により、財務体質の改善に取り組んだ。また、教職員の意思結集・一致協力のために学校の組織化と新たなマネジメントの実践し、新しい施設設備へ積極投資する広報戦略を展開してきた。これまでの教育環境整備の実践状況は次の通り。

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 平成18年12月 | 木村理事長 就任                      |
| 平成19年4月  | 木村理事長、校長兼務 「浪速改革のスタート」        |
| ①平成19年8月 | 正門「改革の門」 更新                   |
| ②平成21年4月 | 校外学習合宿施設「多聞尚学館」 開設            |
| ③平成22年6月 | 校外グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」 開設       |
| ④平成23年3月 | 武道場総合施設「浪速武道館」 竣工             |
| ⑤平成23年8月 | クラブハウス棟（部室・教室・カフェテリア） 竣工      |
| ⑥平成24年8月 | 多聞尚学館「千早清明寮」 改修               |
| ⑦平成25年8月 | 校内グラウンド全面人工芝生化                |
| ⑧平成26年3月 | 新館（現西館）内部改修（中学校職員室、ボクシング道場他）  |
| ⑨ 同年 同月  | 体育館 改修                        |
| ⑩ 同年 同月  | 新校舎「東館」（5階建）・「天岩屋戸門」 竣工       |
| ⑪ 同年 同月  | 旧・学院神社 撤去（岩手県大船渡市移設）、神宮遥拝所 新設 |
| ⑫ 同年 同月  | クラブハウス棟「体育教官室」 新設             |
| ⑬ 同年 同月  | 外部テニスコート 開設（1年間）              |
| ⑭平成27年3月 | 多聞尚学館 大規模改修（外装更新・防水対策）        |
| ⑮平成27年8月 | 新校舎「中央館」（8階建） 竣工              |
| ⑯平成27年9月 | 「トレーニングルーム」 新設、「西館音楽室」他 改修    |
| ⑰平成28年3月 | 「第2ボクシング練習場」 設置、「中学技術室」 設置改修  |
| ⑱平成28年3月 | 西館外壁 改修                       |
| ⑲平成28年3月 | 「学院神社」 竣功、正門・外構工事 竣工          |

上記がこの10年に及ぶ経営改善の成果であり、平成28年5月10日の「新校舎・新学院神社竣功奉祝祭」御齋行をもって「浪速改革」第一ステージが終幕した。他校を追い越

し、圧倒的に凌駕する燦然と輝く教育環境が整備され、「新しい学校の形」が完成を迎え、本校が未来永劫に亘って発展するための「浪速の礎」となり、浪速百年の新しい歴史が始まった。

改革 11 年目の 29 年度は第二ステージの幕が開き、時代は留まることなく移り変わり、12 年間の「浪速改革の成果」を享受しながら、30 年度は有終の美を迎えた。

31 年度は御代が替わり、「令和元年」の始まりとともに「浪速改革 令和新時代」は教育の中身の更なる充実と発展のために、教職員一致団結して取り組んだ。

## 2. 教育トライアングルの整備・充実、有効活用

平成 28 年度に完成した 8 階建の新校舎「中央館」と三代目御本殿の「学院神社」は、「浪速改革」の集大成であり、「新生浪速」の象徴である。校内施設は、これまでに「浪速武道館」・「クラブハウス棟」・「人工芝グラウンド」が既に整備が完了しており、29 年度は新たに近隣に「至誠寮」が加わった。

この校内施設を中心として、校外の学習宿泊施設「多聞尚学館」、同じく校外の多目的グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」、これらの施設によって形成する教育トライアングルが文武両立の拠点となり、広報活動において大きな効果をもたらしてきた。

29 年度は、校外グラウンド「美原スポーツキャンパス」の取得を契機に、教育環境の更なる整備に着手し、「多聞尚学館」は内外装・外構のリフレッシュ、「浪速ふくろうスタジアム」は人工芝生化に伴い多目的グラウンドから野球専用球場「浪速ふくろうベースボールスタジアム」に一新し、施設の整備・充実を図った。

30 年度は、「美原スポーツキャンパス」第 1 期工事として「浪速八咫烏庭球倶楽部」（テニスコート 5 面・クラブハウス）を整備し、女子空手道部発足に伴い「浪速武道館」増築を行った。

31 年度は御代が替わり「令和元年」を迎え、「美原スポーツキャンパス」は「高天原スポーツキャンパス」と改称し、第 2 期工事としてサッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場「浪速乾坤一擲ドリームフィールド（Kフィールド）」の整備を着工し、令和 3 年 1 月に完成した。

続いて、同じく高天原スポーツキャンパスにおいて「産土ゴルフ練習場」の整備に着工（令和 4 年完成予定）し、そして令和 5 年に迎える創立 100 周年記念事業として高天原スポーツキャンパスに「高天原アリーナ」の建設について検討を進めていく。

これらを文武両立の拠点として、令和 3 年度以降も引き続き生徒数の安定確保のために広報活動に有効活用していく。



### 3. 生徒募集

令和3年度(2021年度)生徒募集状況については、入試広報部の詳細な資料の通り、志願者ベースで高校1,759名・中学377名となり、令和2年度募集と比べて高校は少子化進展下において前年比+159名となり、中学校は前年比▲6名となったが、大阪府下私学における上位校として存在感を示した。また、入学者ベースは高校が771名(前年比+121名)となったが、中学校が136名(前年比▲1名)の新記録を樹立し、この結果、令和3年度の在籍生徒数は2,502名(高校2,122名、中学380名)となる。2年度期首と比べて+135名となったが、少子化進展下においても再び生徒総数2,500名を超える府内屈指の大規模校として維持できた。これは「浪速改革」14年間の取り組みが内外に評価された成果と言える。

令和4年度(2021年度)の生徒募集については、迫りくる少子化に備え、過去の実績に驕ることなく地道な活動を続けていく。この「浪速人気」を不動のものとするため、入試広報部をはじめ本校で働く全教職員の総合力を結集し、これまで以上に直向きな取り組みを続けていく。

### 4. 類・科・コース並びにクラス数・生徒数

令和2年度の全校生徒数は2,366名となった。全校生徒に占める女性比率が33.6%と着実に増加しており、生徒総数2,300名を超える府内屈指の大規模校として、より付加価値の高い教育を提供し、しなやかで頼もしい浪速生を育成するために、「新学習指導要領」への対応を軸とし、教育の中身を進化させていく。教科指導とともに、教員は生活指導面において、緊張感をもって対応していく。

### 5. 学校運営体制

#### (1) 全般

令和2年度は全校生徒数が2,366名(前年度対比▲156名)となり、常勤講師23名の教員を迎え入れ、教職員総合計180名(前年度対比▲3名)で運営を行った。

#### (2) 管理職

令和2年度の管理職は、木村理事長が学院長兼務を継続し、前年度末（令和2年3月末）をもって平成19年度就任から13年間務めた高等学校長の職を退任した。また同じく前年度（令和2年3月末）をもって宮中学校長及び高等学校上席副校長兼務は退任した。これに伴う体制は以下の通りとなった。

飯田高校副校長及び中学校副校長は昇格して新たに高等学校長に就任した。また、中村高等学校次席副校長及び中学校副校長兼務は新たに中学校長に就任した。

そして、出口中学校教頭及び入試広報担当教頭は新たに入試広報部教頭に就任した。尚、栗林高等学校教頭は降任し指導教諭となった。

森川高等学校教頭、西田中学校教頭は継続し、これにより高等学校、中学校ともに教頭1名体制となった。

そして、宮木理事（理事長特命事項担当）及び事務統括は新たに副学院長に就任し、吉田事務長は継続となった。

以上の通り、管理職8名で運営を行い、教職員への指導育成を重視して更なる「学校改革」を推し進めていった。

## 6. 学校行事

令和2年度は、「新春拝賀始業式」、「陸上競技大会」、「高等学校耐寒訓練」、「中学校耐寒金剛山登山」、「合唱コンクール」、「エンパワーメントプログラム」、「夏期特別選抜合宿（高校3年生対象）」・高校2年文理コース生対象「信貴山夏季特別合宿」、「中学イングリッシュキャンプ」、「高校海外語学研修」、「中学海外語学研修」等、例年の主要な行事は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、生徒の健康と安全を重視してやむを得ず中止とした。

「高校海外修学旅行」は、目的地を海外から全コース国内に変えて準備を進めたが、第2波感染拡大を踏まえ、日帰りの「USJパーティープラン」の代替え実施を予定したが、第3波感染拡大が迫る状況下での実施は困難であると判断して中止とした。

「中学修学旅行」は、目的地を屋久島から広島・山口に変えて準備を進めたが、高校と同じく第2波感染拡大により日帰りの「USJパーティープラン」に変えて準備を進め、健康と安全を重視した更なる内容見直し等で慎重に検討した結果、最終的に実施した。

こうした状況下においても、「伊勢修養学舎」については宿泊日程を日帰りの「伊勢参り」に、また「浪速祭」については「文化部発表会」に形を変えて実施する等、一部の行事についてはできる限りの感染防止対策を取りながら、状況に応じた新しい形での実施を模索しながら柔軟な対応を行った。

## 7. 生徒指導上の目標

令和2年度も前年度に引き続き、「教科指導」並びに「生活指導」を重要課題と位置づけた。

「教科指導」に関しては、より付加価値の高い教育の提供のために教員一人一人の質的向上を目指し、更なる「教員の指導力向上」を図り、「浪速の教育力」を確固たるものにするべく取り組んだ。また、学習指導要領改訂に向けて「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」の視点からの授業改善に取り組み、生徒一人一台のICT端末・Chromebookの導入を進め、既に全学年に導入を完了した中学校に続き、高校でも生徒一人一台の導入を完了した。電子黒板等ICT機器によるweb教材やメディア教材を用いた主体的教育を実践していくために、新分掌「ICT教育推進部」を設置し本格的に実践していくと同時に、より効果的な活用方法の研究を進めていった。

「生活指導」に関しては、近年、社会において説明責任、危機管理等の実践が様々な場面で問われる時代であり、保護者・生徒に対する本校の姿勢・指導方針の説明・浸透が大切である。また、学習指導要領改訂に向けて「学びに向かう力・人間性の涵養」「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」といった新しい時代に必要な資質・能力の育成が問われる教育現場において、基本的な人間力の育成が生徒指導の根本と考える。特に、モラル、コミュニケーションの低下による「いじめ問題」「いじめ行為」の早期発見早期指導を充実させ「思いやりの心」「協調性」「感謝する心」を育てる指導を目標に、「生徒の言動に注意を払い見守るやさしさ」と「駄目なものは駄目である」という強い姿勢を持って、全教職員が一致団結して生徒指導に取り組んだ。

## IV. 財務の概要

### 1. 令和2年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

### 2. 資金収支

収入の部は、生徒等納付金収入1,279百万円（対前年比+96百万円）、受験者数2,136名（高校1,759名、中学校377名）による手数料収入38百万円、入学者数907名（高校771名、中学校136名）による入学前受金収入175百万円（対前年比+23百万円）、補助金

収入 1,028 百万円（対前年比▲217 百万円）、長期借入金収入 300 億円（「浪速乾坤一擲ドリームフィールド」建設資金）、前年度繰越支払資金 319 百万円等で、収入の部合計 3,917 百万円（対前年比+301 百万円）となった。

支出の部は、借入金返済支出において今年度の返済 169 百万円を支払い、施設関係支出等において土地購入（「校友会館」建設用地）、高天原スポーツキャンパス第 2 期工事「浪速乾坤一擲ドリームフィールド」（総合競技場・クラブハウス）新設工事、多聞楽舎新築その他に加え、中央館東館無線環境更新を含め、1,168 百万円を支払った。資産運用支出において、旅行積立引当 150 百万円等の積み増しを行ったうえで、翌年度繰越支払資金は 229 百万円となった。

### 3. 事業活動収支

事業活動収入計 2,424 百万円（対前年比+43 百万円）から事業活動支出計 2,004 百万円を差し引いた基本金組入前収支差額が 420 百万円となった。今年度は大口の施設・設備の取得に伴い基本金組入額合計▲1,047 百万円を計上した結果、当年度収支差額▲627 百万円となったが、前年度繰越収支差額 365 百万円を通算し翌年度繰越収支差額は▲262 百万円となった。尚、翌年度は設備投資で特に大規模な計画はなく、生徒数増加等を背景に翌年度の繰越収支はプラスに転じる予想である。

### 4. 貸借対照表

資産の部合計は 14,841 百万円（対前年比+516 百万円）で過去最高を更新した。これより負債の部合計 2,333 百万円を差し引いた本年度の資産総額（差引正味財産）が 12,508 百万円（対前年比+420 百万円・103.5%）となり、30 年度から 3 期連続で 100 億円の大台を維持して過去最高を更新した。

以 上